

## 大規模災害に備える！(自主防災組織の活性化をお手伝い)

令和6年(2024年)1月に発生した能登半島地震の際、能登半島の先端部の海沿いに位置する地区(珠洲市三崎町寺家下出)では、地震発生後に隣近所が声を掛け合い、早期に避難したことで、堤防を越える大きな津波が地震発生から25分ほどで襲来し、多くの住宅が倒壊したものの、住民全員の命が助かりました。

この地区では、**自主防災組織が機能**しており、避難計画等が整備されていました。また、2011年の東日本大震災以降、毎年1~2回地震や津波を想定した避難訓練を実施しており、こうした日頃からの取り組みが命を守るとっさの行動に繋がったと言えます。

**わたしたちは「自助」「共助」の精神**で、もしもの災害に備えましょう。

## これからの防災まちづくりについて…

2026年「防災庁」創設に向けた変化を捉え、NPOとしての役割を担います。



# 防災活動に取り組む！（あなたのまちの防災まちづくりに活かす）

地域での防災活動は、災害時に命と暮らしを守るための大切な要ですが、その力は日頃の活動を通じてこそ発揮されます。いざという時に慌てず行動するためには、平常時から顔の見える関係づくりや、役割の確認、防災訓練の実施、防災資機材の管理、要配慮者への支援体制づくりなど、地域の実情に応じた地道な取り組みが欠かせません。

ここに取り上げられている活動のテーマは、あなたのまちの防災まちづくり活動に欠かせないテーマです。

私たちは、これら防災活動の提供を通じて、防災まちづくりに貢献してまいります。



EPPは、多くの人々や団体に対して、防災支援、環境保全、情報化に関する事業を行い、コミュニティの醸成を図りながら、人々の命と暮らしを守り、豊かで、安心する、快適な未来を創造することに寄与することを目的とします。

## 防災支援事業のコンセプト

私たちは、地域で防災意識を高める活動を推進します。それは、日常生活の中で、一人ひとりが自分の命を守り、家族や地域で話し合い、困っている人を支えるために、地域で声を掛け合い、誰一人取り残さない、地域社会の実現をめざす活動『**防災コミュニティ活動**』です。

そして、今後大規模災害は発生するものとしています。わたしたちは、来る災害に備えると共に、災害発生前の平時から災害が発生した際のことを想定し、どのような被害が発生しても対応できるよう、『**復興防災まちづくり**』を提供いたします。

お問合せ・ご連絡はこちらまで **特定非営利活法人 EPP**

〒870-1159 大分市宗方台北 13-1 (大分事務所)    〒861-2105 熊本市東区秋津町秋田 3066-18 (熊本事務所)  
E-MAIL [t-yamaguchi@epp.or.jp](mailto:t-yamaguchi@epp.or.jp) ☎097-507-2675 E-MAIL [s-okabe@epp.or.jp](mailto:s-okabe@epp.or.jp) ☎ 090-8350-8861